

職員の転倒災害を防止しましょう！

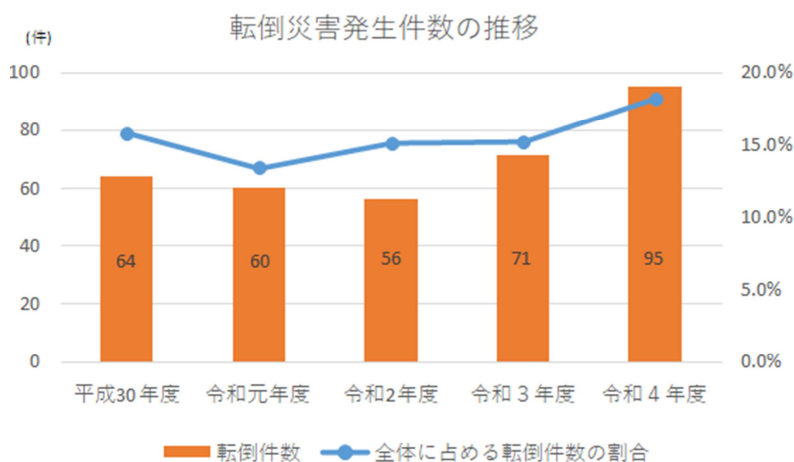
公務災害では、「転倒」による被災が多く発生しており、当支部で発生する災害のうち、

約4分の1が「転倒」による災害です。

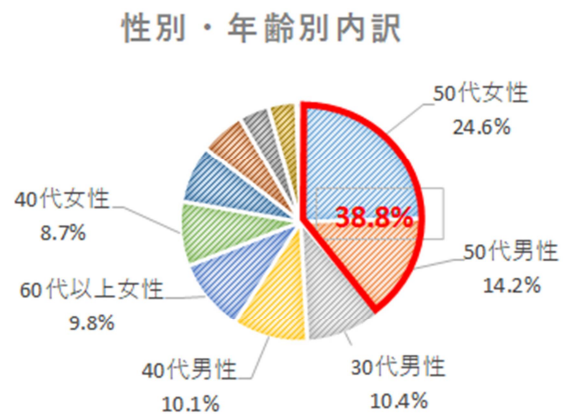
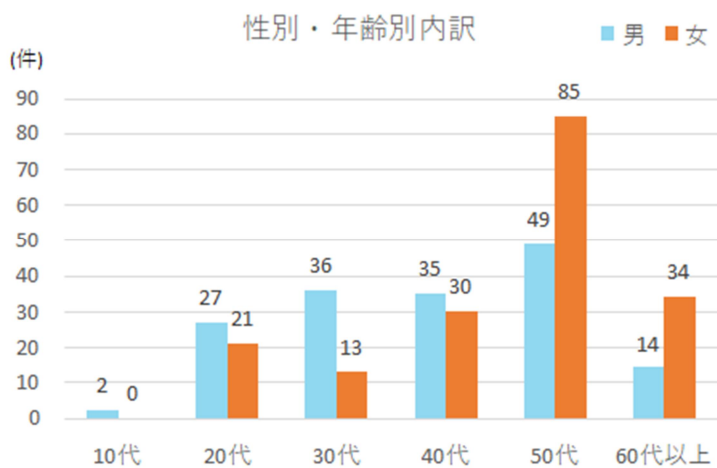
「転倒」により、骨折などの大けがを負い、治療に長期間を要したり、後遺障害が残る事例も見られます。

慌てて行動しない、足元に注意するなど、ほんの少し意識することで災害を防止しましょう。

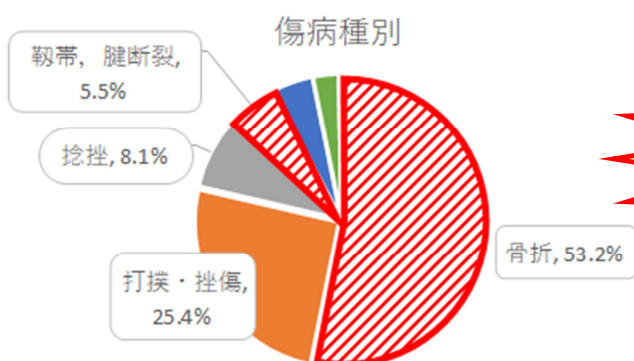
●転倒災害の発生状況（平成30年度～令和4年度）



50代の被災が全体の4割近くを占めており、特に、50代女性の被災が圧倒的に多い。



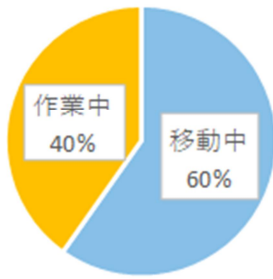
●転倒災害による負傷の状況（平成30年度～令和4年度）



転倒により、半数を超える方が、「骨折」や「靭帯、腱断裂」などの重傷を負っています！

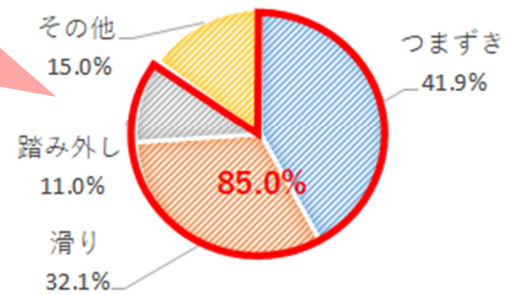
●被災時の状況（平成30年度～令和4年度）

何をしていたか



転倒災害の典型には
**つまずき・滑り・
踏み外し**
の3つのパターンが
あります。

転倒の原因



●つまずきの事例と防止対策

- ・勤務場所内での移動中に階段や通路の段差につまずいて転倒（34.5%）
→階段や段差のある場所では足元に注意するよう促す張り紙等を掲示する。
- ・進路上にある荷物や、机の引き出しや椅子などに足を引っかけて転倒（29.7%）
→荷物は所定の場所に片付け、引き出しや椅子は用が済んだら元に戻しておく。
- ・何も無い所でつまずいて転倒、足がもつれて転倒（18.6%）
→慌てて行動しない。転倒しにくい身体づくりをする。



●滑りの事例と防止対策

- ・湿った路面、通路の水濡れや凍結など、水分で滑って転倒（36.0%）
→掃除等で通路が濡れている場合は、濡れていることが分かるように注意を促す。
- ・走り出す、急に止まるなど、急な動作によりバランスを崩して滑って転倒（27.9%）
- ・外での作業中などに、足元の砂等で足を滑らせて転倒（16.2%）
→慌てて移動することがないように、余裕を持った行動をする。



●踏み外しの事例と防止対策

- ・階段を降りる際に足を踏み外して転倒（36.8%）
→階段が被災しやすい場所であることを意識し注意を促すような張り紙等を掲示する。
- ・通路等の段差で足を踏み外して転倒（34.2%）
→スロープを設置するなど、段差をなくす。
- ・掲示物等の掲示や取り外しの作業中に、作業場所から足を踏み外して転倒（18.4%）
→掲示の際に、椅子や机を使用せず脚立を使う。複数人で作業を行う。

